**4 あさのあつこ『薄桃色の一瞬に』**

とは中学一年のときからの付き合いだから、もう三年以上になる。気恥ずかしくて一度も口にしたことはないけれど、親友だと思っている。にとって、藍子は他の誰とも違っていた。一人っ子のせいなのか、生来のなのか、絵美は幼いときから、人見知りが激しく、他人と言葉を交わすのがⓐ苦手だった。ⓑ歳相応な語彙はちゃんと持っているのだが、く使えない。舌がこわばって、言葉が滑り出るのを押さえてしまう。無理に押し出そうとすればするほど言葉は喉の奥にへばりついて、萎縮してしまうのだ。顔が紅潮し汗がむ。

「絵美ちゃんて、へんだ」

よく言われた。いじめられたことも、嘲笑されたことも、一人ぼっちで遠足の弁当を食べたことも、母親のⓒコンワクした顔を見たくないⓓイッシンで、歯を食いしばって登校したことも、数え切れない。

高校生になった今、ふっと自分の生きてきた時間を振り返る。小学校を卒業するまでの十二年間とそれからの三年あまりの年月には、①明瞭な世界の変質がある。その境界点に藍子がいた。

中学に進学して、かなり治まっていた人に対することへの苦手意識と言葉の滞りが、また少しＡ頭をもたげていた。周辺四地域の小学校から集まってきたクラスメートたちは、見知らぬ顔がほとんどで、見知った顔の中にも、気軽に口がきけるほど親しい者はいなかった。

真新しくて微妙に身に添わない制服も、汚れ一つついていない教科書も、ざわめく教室の空気も、威圧的で　　　　で絵美はＢ身がむ。

楽しげなおが聞こえる祭りの夜、膝をかかえて部屋の片隅に独り、座しているような②孤独と惨めさに内側から侵されていく。

「こんにちは」

声をかけられた。視線をあげると、目がちかりと刺激された。黒目がちのがき込んでいた。

「さんでしょ。あたし、藍子です。当分お隣同士だから、よろしく」

新学期の最初一か月間は出席番号順に並ぶという定例に従って、藍子は絵美の隣席に座ったのだ。

「あ……よろしく」

慌てて、ぎこちないお辞儀をする。藍子がにっと笑った。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓓのカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で記せ。（3点×4）

ⓐ〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　〕

ⓒ〔　　　　　〕　ⓓ〔　　　　　〕

問2　波線部Ａ・Ｂの語句のここでの意味として最も適当なものを、次からそれぞれ選べ。（5点×2）

　Ａ　頭をもたげる

ア　姿勢を正す　　　イ　表に出てくる

ウ　頭を悩ませる　　エ　勢力を伸ばす

〔　　　〕

　Ｂ　身が竦む

ア　身が縮んで動かない　　イ　緊張する

ウ　いらいらする　　　　　エ　身が病んでしまう

〔　　〕

問3　空欄に入る語句として最も適当なものを、次から選べ。（6点）

ア　健康的　　イ　圧倒的

ウ　排他的　　エ　運命的

〔　　　〕

問4　傍線部①「明瞭な世界の変質がある」とあるが、具体的には藍子と出会ってどのように変わったというのか。最も適当なものを次から選べ。（12点）

ア　他人とコミュニケーションがとれる明るく楽しい毎日から、他人と上手く接することができない暗い日々に変化した。

イ　いじめられて人間が信用できない毎日から、人に何を言われてもくよくよしない日々に変化した。

ウ　人と接するのが面倒な毎日から、みんなとわいわいと騒いで刹那的に楽しめる日々に変化した。

エ　他人と上手く接することができない暗い毎日から、他人とコミュニケーションがとれる明るく楽しい日々に変化した。

〔　　　〕

問5　傍線部②「孤独と惨めさ」の原因となっているものは何か。本文中から二十字以内で抜き出せ。（10点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

練習問題〈四字熟語〉

次の空欄に漢字一字を入れて、四字熟語を完成させよ。

①　一喜（　　　）憂

②　十人（　　　）色

③　 （ 　　　）戦錬磨

④　笑止（　　　）万

⑤　森羅（　　　）象

⑥　無我（　　　）中

⑦　変（　　　）自在

⑧　順（　　　）満帆

⑨　行（　　　）流水

⑩　花鳥風（　　　）

【解答】

問1　ⓐにがて　ⓑとしそうおう　ⓒ困惑　ⓓ一心

問2　Ａ＝イ　Ｂ＝ア

問3　ウ

問4　エ

問5　人に対することへの苦手意識と言葉の滞り（19字）

【練習問題解答】

①一　②十　③百　④千　⑤万　⑥夢　⑦幻　⑧風　⑨雲　⑩月

【50字要約例】

人づきあいが苦手な絵美の世界が変質したきっかけは、のちに親友となる藍子との中学入学時の出会いだった。（50字）